

女性特有のがん 早期発見へ講座

来月橋本で

がんの早期発見の重要性などを伝える市民公開講座「女性特有のがん（乳がん・子宮頸がん）検診率向上をめざして」（読売新聞和歌山支局など後援）が10月18日午後2時半から、橋本市高野口町向島の市産業文化会館で開かれる。無料。

紀和ブレスト（乳腺）センターなどでつくる「乳がんいのちプロジェクト実行委員会」が企画。

子宮頸がんを患った経験のある三原じゅん子参院議員が検診率向上のための取り組みなどについて基調講演するほか、梅村定司・同センター長と奥村マタニテイクリニツクの池島美和医師が予防や治療について講演する。

午後5時半からは、九度山町の慈尊院の多宝塔を乳がん撲滅のシンボルカラーであるピンク色にライトアップする。

問い合わせは実行委員会事務局のある紀和病院（0736・34・1317）へ。